

第5次武雄市行政改革プラン(案)

(計画期間 R8年度～R12年度)

～未来へつなぐ持続可能な行財政運営を目指して～

行政改革の目的

簡素で効率的な行政運営及び財政基盤の確立を図ることで、行政サービスの質を上げ、市民の暮らしをより良いものにすること。

武雄市の課題

- ① 少子高齢化と人口減少の急速な進行
- ② 扶助費の増加
- ③ 公共施設の老朽化に伴う維持管理と更新
- ④ 財源不足による経常的な基金の取り崩し

●歳入・歳出・収支の見通し

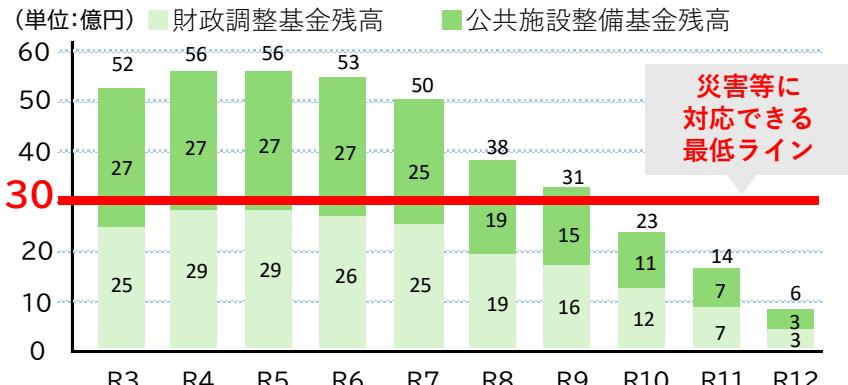
(単位:億円)

	R8	R9	R10	R11	R12
歳入	286	264	261	272	270
歳出	295	269	266	278	275
収支	▲9	▲5	▲5	▲6	▲5

※歳入には基金から毎年度3億円の繰入れ、歳出には0.5億円の基金積立て(R8・R9)を見込む。

▶今後5年間で約30億円の財源不足

財政調整基金・公共施設整備基金残高見込み



概要版

本市の課題は第4次プランから変わらず存在

【資料2】

継続した取り組みが必要

基本目標

変化する社会の中で未来を見据えた財政基盤の強化

基本方針

基本方針1 人材育成と働き方改革

基本方針2 持続可能な行財政運営

基本方針3 市民との協働・民間活力の活用

基本方針4 デジタル化の推進による住民サービスの向上・業務効率化(重点項目)

主な取組項目と目標額

歳入確保目標額

23.7億円

歳出削減目標額

6.3億円

・税収の増加 0.2億円

収納率の向上、経済活性化策

・基金の効率的な運用 1.0億円

基金運用による利子収益の増

・ふるさと納税の強化 11.5億円

PR強化等による寄附の増

・他会計からの繰入 10.0億円

競輪事業会計からの繰入金

・大学開学効果 0.5億円

税収増、土地貸付料

・ほか、遊休資産の売却、使用料改定等

・行政経費の削減 2.5億円

事務事業の取捨選択、優先順位付け

・公共施設マネジメント 1.0億円

公共施設の縮減、LED化等

・働き方改革・業務効率化 2.0億円

フロントヤード改革

業務管理の徹底→時間外手当削減

・公営企業の経営健全化 0.5億円

経営戦略に基づく経営健全化

・事務改善 0.3億円

ペーパーレス、節電等